

岐阜県で農業を 始めたい人を応援します！

清流の国ぎふ
マスコットキャラクター
ミナモ



清流の国ぎふ
ミナモ通信

「担い手育成プロジェクト2000」の展開

県では、今年度から5年間で2000の新たな農業の担い手を育成する「担い手育成プロジェクト2000」を展開しています。就農支援の総合窓口の開設や就農研修の実施、営農定着の支援など、関係団体と一丸となって就農希望者等を支援しています。

■問／県庁農業経営課 ☎058(272)8421

就農相談から営農定着まで一貫して支援する「岐阜県方式」

就農相談

・ぎふアグリチャレンジ支援センターでの就農相談や相談会の開催

就農研修・支援

・農業体験や研修拠点での研修
・農地取得など就農に向けた支援

営農定着支援

・技術や経営改善の支援や仲間づくりのための交流会の開催

地域就農支援協議会・就農応援隊

就農支援の総合窓口

ぎふアグリチャレンジ支援センターを開設

4月3日、農業関係団体や金融機関の協力のもと、「ぎふアグリチャレンジ支援センター」をオープンしました。これまで複数の機関に分かれていた窓口を一本化。多様化する就農・就業ニーズに、スムーズに対応するのが狙いです。個人の就農や農業法人への就業相談のほか、企業の農業参入相談など新たに農業へチャレンジする方々を支援していきます。

ぎふアグリチャレンジ支援センターへお気軽にご相談ください！



- ・農業の基礎を学びたい
- ・農業を始めるためのステップを知りたい
- ・農地を借りたい
- ・農業ビジネスを始めたい

■問／ぎふアグリチャレンジ支援センター（(一社)岐阜県農畜産公社内）
岐阜市藪田南5-14-12（県シンクタンク庁舎2階）☎058(276)4601

自立に向けた 実践的な就農研修を実施

県では、新規就農者の自立に向けて、農業経営開始に必要な技術や知識などを習得する研修体制の整備に取り組んでいます。その一つである県就農支援センターは、県が開発した「トマト独立ポット耕栽培システム」による冬春トマトの栽培研修施設で、農業簿記など、経営に必要な知識・技能も併せて学べます。平成26年の開所以来、毎年4人の研修者を募集し、これまでに修了した全員が独立してトマト農家として活躍しています。



県就農支援センターでのトマト栽培研修

先輩就農者に聞く！岐阜の農業の魅力



井関農園 井関貴文さん、美穂さん

豊かな自然の力を借り 環境に優しい栽培を

「高山市の農園で働いたことをきっかけに、就農に興味を持ちました。ノウハウを教わったほか、住居探しなども手伝ってもらい、今でも相談に乗ってもらっています。孫世代に農業を引き継げるよう、その土地の力を生かした自然栽培を目指したい」



田家一衛さん（県就農支援センター修了生）

就農への悩みを解決！ 思いを共有する仲間を得る

「県就農支援センターが、農地や資金の確保、ハウスの設置などさまざまな情報を提示してくれたので、就農にあたって悩むことはほとんどありませんでした。同期生と週1回栽培に関する検討会を開くなど、貴重な仲間づくりの場にもなりました」